

令和7・8年度複合構造委員会 第2回幹事会 議事録

日 時：2025(令和7)年7月25日(金) 14:00～17:30

場 所：土木学会D会議室 & Zoom

出席者：大山委員長，北根副委員長，平幹事長，川端幹事，塩畑幹事，高橋幹事，~~内藤幹事~~，中田幹事，中原幹事，中村幹事，西村幹事，橋本幹事，藤林幹事，藤原幹事，皆田幹事，山本幹事，横田幹事，~~岡崎事務局~~

(敬称略) (下線：オンライン参加，取消線：欠席)

配布資料：

- 幹2-0 令和7・8年度複合構造委員会第2回幹事会議事次第
- 幹2-1 令和7・8年度複合構造委員会第1回幹事会議事録(案)
- 幹2-2 令和7・8年度複合構造委員会第1回委員会議事録
- 幹2-3 委員の交代について
- 幹2-4-1 令和7年度委員会予算(案)
- 幹2-4-2 調査研究拡充支援金の配分について(ご連絡)
- 幹2-5 H222小委員会の延長について
- 幹2-6 令和7・8年度複合構造委員会幹事会業務分担
- 幹2-7 令和7年度土木学会全国大会・年次学術講演会(共通セッション)
- 幹2-8 令和7年度土木学会全国大会・研究討論会
- 幹2-9 新規小委員会設置に向けて
- 幹2-10 親委員会(第2回以降)での報告・発表について
- 幹2-11 複合構造委員会HPについて
- 幹2-12 第16回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム(H001)
- ~~幹2-13 土木学会論文集特集号(複合構造)(H005)~~
- 幹2-14 複合構造の継続教育(H006)
- 幹2-15 300年暴露プロジェクト小委員会報告(H007)
- 幹2-16 20周年記念式典について(H008)
- 幹2-17 出版関連報告
- 幹2-18 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 幹2-19 H109 複合構造技術の発展に関する調査小委員会
- 幹2-20 H111 カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会
- 幹2-21-1 H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会
- 幹2-21-2 H220 通読結果とその対応
- ~~幹2-22 H221 樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会~~
- 幹2-23 H222 複合構造におけるプレブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会
- 幹2-24 H223 弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会
- 幹2-25 H224 AIを活用した複合構造物のライフサイクルマネジメントの高度化に関する研究小委員会
- 幹2-26 令和7・8年度土木学会論文賞選考委員会委員の推薦について

議事内容：

1. 委員長挨拶

- ・幹事会の開催にあたり大山委員長より，開会の挨拶がなされた。

2. 複合構造委員会第1回幹事会議事録(案)確認（幹2-1）

- ・塩畑幹事より，令和7・8年度 複合構造委員会 第1回 幹事会の議事録について説明がなされ，誤記を修正し，承認された。

3. 複合構造委員会第1回委員会議事録確認（幹2-2）

- ・川端幹事より，令和7・8年度 複合構造委員会 第1回 委員会の議事録（案）について説明がなされた。
- ・「7. ③第二種小委員会 新規第二種小委員会の設立について」の議論の一つ目の削除および「21. その他」の「令和8年度 文部科学大臣表彰の推薦について」を修正することとなった。後日，メール審議にて，最終確認を行う。

4. 委員の交代について（幹2-3）

- ・平幹事長より，資料を用いて委員の交代について説明がなされた。
- ・2025年7月1日付けで，安藤委員から宇佐美委員に交代の依頼があった。後日，平幹事長より親委員会にメール審議を依頼し，承認後に宇佐美委員への委嘱状の発行手続きやメーリングリストの更新を進めることとなった。
- ・各小委員会における委嘱状の発行手続きは連絡幹事より行うこととし，各小委員会の委嘱状の発行状況について，連絡幹事から再確認する。

5. 令和7年度委員会予算（案）（幹2-4-1，幹2-4-2）

- ・平幹事長より，資料を用いて令和7年度委員会予算（案）について説明がなされた。7月16日付けで，土木学会より調査研究拡充支援金の配分が25.3万円となったとの通知があり，調査研究費とあわせ，今年度の予算が86.7万円で確定したことが報告された。
- ・(H008)記念式典企画小委員会について，委員への配布を含めた冊子の部数について確認すること，(H222)複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会について，試験体作成費（ゲージ代など）を踏まえて配分を増額することが確認された。
- ・以上を踏まえて予算案を修正した後，平幹事長より親委員会にメール審議を依頼することとなった。

6. H222小委員会の延長について（幹2-5）

- ・内藤幹事より，資料を用いてH222小委員会の延長について説明がなされ，小委員会の活動期間延長の依頼がなされ，承認された。今の小委員会の期間（～2025年7月）において，資料の①，②および③の試験体作成まで実施できる見込みであるが，実験や解析，性能照査，検査・評価体系の検討等を行うためには2年の活動期間の延長が必要となる。

- ・小委員会の予算として、内藤幹事が土木学会委員会での活用を前提に外部資金も獲得しているとの説明があった。

7. 令和7・8年度複合構造委員会幹事会業務分担（幹2-6）

- ・平幹事長より、資料を用いて令和7・8年度複合構造委員会幹事会業務分担について説明がなされた。H109の報告書の通読について、8/20までに川端幹事（取りまとめ）、藤原幹事、横田幹事で行うこととなった。

8. 令和7年度全国大会・年次学術講演会（共通セッション）（幹2-7）

- ・皆田幹事より、資料を用いて令和7年度全国大会・年次学術講演会（共通セッション）について説明がなされた。

9. 令和7年度全国大会・研究討論会（幹2-8）

- ・平幹事長より、資料を用いて全国大会の研究討論会について説明がなされ、収録が8/5（火）9時から大林組にて行われること、動画編集ソフト（4,490円）が購入されることが確認された。

10. 新規小委員会設置に向けて（幹2-9）

- ・藤林幹事より、資料を用いて新規小委員会設置について説明がなされ、現状、H101（継続）において改訂される複合構造示方書に基づく事例の作成や、3つの新規小委員会の案が挙げられていること、複合構造委員会委員の現場見学会について説明がなされた。
- ・H101（継続）における事例の作成は、第二種小委員会で設置予定の計算例の作成とは別であるが、これらの実施内容や委員構成等について、示方書小委員会に確認することとなった。また、複合構造シリーズ08「基礎からわかる複合構造」が示方書の改訂などに合わせて改訂していることから、この図書を作成した小委員会（H103）を立ち上げることを検討することとなった。

11. 親委員会（第2回以降）での報告・発表について（幹2-10）

- ・平幹事長より、資料を用いて親委員会（第2回以降）での報告・発表について説明がなされた。終了委員会が多いが、詳細は次回幹事会までに検討することとなった。

12. 複合構造委員会HPについて（幹2-11）

- ・横田幹事より、資料を用いて複合構造委員会HPについて説明がなされ、HPの更新および修正が必要と思われる内容について確認された。
- ・Menuの委員名簿および委員構成は最新版とすること、議事録は（案）の記載のあるものは削除すること、複合構造標準示方書の発刊文章は示方書の小委員会に確認し、示方書講習会後に修正することとなった。また、問い合わせのメールアドレスは幹事会のメールリストとすることとなった。
- ・英語HPの小委員会名は、平幹事長より各小委員会に確認することとなった。

13. 第16回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム（幹2-12）

- ・山本幹事より、資料を用いて第16回複合・合成構造の活用に関するシンポジウムについて説明が

なされた。

- ・講演要旨は69件全て採択されたこと、最終原稿の締切は9月12日であるが、土木学会および建築学会の全国大会と重複するため、締切期限の延長を建築側へ要望したことが確認された。
- ・建築側より、シンポジウムのプログラム案が提示され、8/末期限で土木側の座長を選定中であること、パネルディスカッションの内容は、建築側との合同打合せで議論する予定で、8/6もしくは8/7で日程調整中であることが確認された。

14. 土木学会論文集特集号（複合構造）（幹2-13）

- ・特に進捗がないため割愛。

15. 複合構造の継続教育（幹2-14）

- ・中村幹事より、資料を用いて第9回若手技術者のための複合構造セミナー(案)や複合構造e-ラーニング(案)等について説明がなされた。
- ・第9回若手技術者のための複合構造セミナーについて、土木学会誌の9月号に会告が掲載される予定である。講師の奥井先生には大山委員長よりお盆前までに講演タイトルについて連絡を取って頂くことが確認された。
- ・「4. その他(2)計算事例やFEM 解析事例の収集」のFEM解析事例については、示方書小委員会等と調整することが確認された。

16. 300年暴露プロジェクト（幹2-15）

- ・平幹事長より、資料を用いて300年暴露プロジェクトの説明がなされ、近々にゴム支承協会からの委員選出を依頼して委員を確定した後、委嘱状を発行し、活動を進めることが確認された。

17. 20周年記念式典（幹2-16）

- ・皆田幹事より、資料を用いて20周年記念式典の説明がなされ、土木学会誌の10月号に会告が掲載される予定であること、構造工学委員会、鋼構造委員会にも案内すること、記念誌の執筆やパネリストは依頼済であること等が確認された。
- ・記念式典の実施報告について、土木学会誌への掲載を行うこととし、瀧本委員長と土木学会で調整すること、パネルディスカッションについて、大山委員長と話題提供者兼パネリストで事前に内容確認、調整を行うことが確認された。

18. 出版関係報告（幹2-17）

- ・中田幹事より、資料を用いて出版関係報告の説明がなされ、販売状況や販売を終了する複合構造レポート・シリーズ、出版企画の募集について確認された。来年度の新規の出版企画は無い予定である。

19. 小委員会報告・審議事項（幹2-18, 幹2-19, 幹2-20, 幹2-21-1, 幹2-21-2, 幹2-22, 幹2-23, 幹2-24, 幹2-25）

(1) H109: 複合構造技術の発展に関する調査研究小委員会（幹2-19）

- ・平幹事長より資料を用いて説明がなされ、委員の交代と報告書の通読（形式査読）等のスケジ

ルールが確認された。

- (2) H111:カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会（幹2-20）
 - ・川端幹事より資料を用いて説明がなされ、2026年2月10日にパネルディスカッション等の企画をH006と共同して行うことについて確認された。
 - ・委員会名簿について、交代、退任された委員は、旧委員であることと活動期間を明示する。
- (3) H220:グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会（幹2-21-1, 幹2-21-2）
 - ・川端幹事より資料を用いて説明がなされ、講習会が10月31日（金）に開催されること、報告書は初校が完了し、9月上旬に土木学会HPで案内される予定であること、幹事会の通読の対応は完了していることについて確認された。
 - ・講習会の申込者数について、上限に近づき次第、土木学会に上限を増やせるか相談する。
- (4) H221: 樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会
 - ・橋本幹事より説明がなされ、年度内に講習会を開催予定であることが確認された。
- (5) H224: AI を活用した複合構造物のライフサイクルマネジメントの高度化に関する研究小委員会
 - ・内藤幹事より説明がなされ、9月1日～10月30日までが公募期間、11月18日に第1回委員会を開催予定であることが確認された。なお、連絡幹事は小委員会の委員が決まり次第選定する。

20. その他

- (1) 論文賞選考委員会への委員推薦について（幹2-26-2）
 - ・平幹事長より資料を用いて説明がなされ、論文賞選考委員会への委員推薦が決定したこと、土木学会 令和7年度環境省への応募のお願いはメールにて改めて周知すること等が確認された。
- (2) 令和8（2026）年度重点研究課題の募集について（幹2-26-5）
 - ・平幹事長より土木学会から募集の案内を受領したとの説明がなされ、企画WGにて方針、スケジュールを検討し、次回幹事会で検討することとなった。応募資料の提出期限は2025年12月19日である。
- (3) 次回幹事会について（幹2-26-6）
 - ・資料のとおり、2025年9月10日（水）14時から TKP熊本カンファレンスセンターにて開催する。

21. 閉会挨拶

- ・北根副委員長より、開会の挨拶がなされた。

以上
(記録：中田裕喜)